



街の
活力を
めざす
街づくり

SUN RISE

2026年7月発行



発行元／連絡先

【さいとう英彰 事務所】

〒319-1221 日立市大みか町 1-34-3

TEL 0294-52-4440

FAX 0294-53-1514

社内便（お）労組 齋藤英彰 宛

【自宅】

〒319-1417 日立市かみあい町 2-13-11

TEL (FAX 兼) 0294-42-6504

E-Mail hmmr6504@biscuit.ocn.ne.jp

茨城県議会議員 さいとう英彰 県政だより／第62号

「夢のある活気あふれる街づくり」をめざして 令和8年度 6月補正予算案追加提案

令和8年第2回定例会が6月2日から6月16日までの15日間の会期で開催され、補正予算や条例の改定等が提出されました。今回提出された補正予算は、国補正予算に対応して、中東情勢の影響によるエネルギー価格高騰への負担軽減を図るため、LPガス使用世帯や特別高圧を受電する中小企業等への支援に必要な予算が計上されました。

■ 一般会計（変更分）

（単位：百万円）

区分	現計 A	補正予算 B	補正後 計 A + B
一般会計	1,359,924	833	1,360,757

森林湖沼環境税の継続に向けた要望活動

茨城県においては、これまで「森林湖沼環境税」を財源として、森林の保全・整備や湖沼・河川の水質保全に取り組み、自然環境の維持と公益的機能の発揮に大きな役割を果たしてきました。

こうした中、近年は気候変動の影響により豪雨災害の激甚化・頻発化が進んでおり、山地災害の防止など森林が持つ機能の重要性は一層高まっています。加えて、2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、森林の二酸化炭素吸収源としての役割や、木材利用による炭素固定の観点からも森林整備の重要性が再認識されています。

今回、茨城県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟において、こうした課題認識を共有し、「森林湖沼環境税の継続」を求める要望書を取りまとめ、県へ提出いたしました。持続可能な林業経営のもと、「伐って、使って、植えて、育てる」という緑の循環システムの確立を進めるとともに、県産木材の利用拡大や森林の若返り（再造林）の推進が求められています。

また、花粉症対策としても、伐採期を迎えた人工林を更新し、少花粉苗木の導入を進めていくことは社会的にも意義のある取り組みであり、今後の政策展開において重要な視点となります。

今後も、将来世代へ豊かな自然環境を引き継ぐため、本税を活用した取り組みのさらなる推進について、引き続き提言してまいります。



▲大井川知事へ要望書提出

令和8年度6月 条例改定の内容について

今回の主な条例改定では、茨城県県税条例等の一部を改正する条例や、茨城県外国人の不法就労活動の防止に関する条例が議案として提出されましたので、ご報告いたします。

茨城県県税条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部改正等に伴い、所要の改正をしようとするものです。

【改正の内容】

- 1 ふるさと納税に係る寄付金税額控除の特例控除に77万2千円の定額上限（給与収入1億円の者の特例控除定率上限相当）を追加するもの
- 2 プラットフォーム課税に係る規定の追加
国税庁長官の指定を受けた「第二種プラットフォーム事業者」の提供するデジタルプラットフォーム（オンラインモールなど）を介して国外事業者が国内消費者向けに行う通信販売について、当該プラットフォーム事業者が地方消費税の申告・納税義務を課すこととするもの
- 3 その他所要の改正

茨城県外国人の不法就労活動の防止に関する条例

外国人の不法就労活動の防止に関し、県、事業者及び県民の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項等を定め、外国人の不法就労活動の防止を図り、本県経済の健全な発展と秩序ある共生社会の実現に寄与するため、本条例を制定しようとするものです。

【条例の内容】

- 1 県、事業者及び県民の責務
 - ・ 県は、外国人の不法就労活動の防止に関する総合的な施策を策定し、実施する。
 - ・ 事業者は、外国人の不法就労活動の防止のために必要な措置を講ずるよう努め、県の施策に協力するよう努める。
 - ・ 県民は、外国人の不法就労活動の防止に積極的に努め、県の施策に協力するよう努める。
- 2 事業者及び外国人への広報及び啓発等
 - ・ 県は、事業者及び外国人の理解を深めるため広報及び啓発を実施
 - ・ 毎年11月を不法就労防止推進月間として設定
- 3 事業者に対する調査の実施
県は、外国人を雇用する事業者に対し、県内で就労する外国人の雇用の状況に関する調査を実施
- 4 市町村等との連携
県は、市町村、事業者及び県民との連携協力体制を整備



茨城県立カシマサッカースタジアムの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

施設の老朽化等による維持管理費の増大を踏まえ、所要の改正をしようとするものです。

【改正の内容】

アマチュア以外の利用者が入場料金を徴収して利用する場合におけるグラウンド利用料金の加算額の引上げ

入場者数	改正前	改正後
2万人以下の場合	入場料金の総額の7.5%	入場料金の総額の10%
2万人を超える場合	2万人相当の入場料金の7.5%に2万人を超える分の入場料金の5%を加えた額	2万人相当の入場料金の10%に2万人を超える分の入場料金の7.5%を加えた額

茨城県県税条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部改正等に伴い、所要の改正をしようとするものです。

【改正の内容】

- (1) 個人県民税
ふるさと納税の特例控除額の算定に用いる調整額の改正
 - (2) 不動産取得税
土地・家屋の免税点を引き上げ
- | | 現行 | 改正後 |
|-----|------|------|
| 土地 | 10万円 | 16万円 |
| 家屋 | | |
| 建築分 | 23万円 | 66万円 |
| その他 | 12万円 | 34万円 |
- (3) 軽油引取税
暫定税率（1リットル当たり15円の本則税率に17.1円を上乗せ）を廃止
 - (4) 自動車税
 - ・ 自動車の取得時に課す環境性能割を廃止し、現行の種別割を自動車税に名称変更
 - ・ 排出ガス性能及び燃費性能に優れた自動車に対して取得翌年度の税率を軽減するとともに、初回新規登録から一定年数経過した自動車に対して税率を重くするグリーン化特例を2年延長（令和10年3月31日まで）
 - (5) その他所要の改正

選挙公約の進捗について

選挙公約の進捗についてご報告します。国や市町村と連携しながら様々な取り組みを前進させましたので、その状況をお伝えします。

徹底した行財政改革

◆これまでの課題

- ①令和7年:19,578億円(議員1期目就任当初:21,235億円)(プライマリーバランスは黒字を維持するものの減少傾向 令和7年:498億円)
- ②より県民に寄り添った議会改革が必要

◆これまでの実績

- ①行政側の視点(平成7年度～7次にわたり行財政改革を実施→挑戦する県庁への改革)
 - ・県債残高 令和8年:19,178億円(前年度比:▲400億円)
 - ・令和8年度プライマリーバランス:801億円(前年度比:＋303億円)
- ②茨城県議会改革推進会議【議会改革度調査2025年の都道府県議会では5年連続全国1位】
 - ・休日議会開催、託児サービスの設置(傍聴用)、大学生との意見交換、議会資料の電子化(タブレット配布)
 - ・議員提案により条例22本制定(直近5年間 → 9条例 → 全国2位)
 - ・茨城県議会基本条例の見直し → 議員BCP策定等

今後注力する活動

- 目標に対する評価を代表質問・一般質問や常任委員会を通じて、詳細な進捗状況の確認や効果の検証を行う。
- 費用対効果の見える化を実践

地域医療の再生と安全・安心な地域づくり

医師確保と偏在の是正による地域医療の充実

◆これまでの課題

- 人口10万人当たりの医師数:平成30年度
・茨城県:197.5人 → 全国46位(全国平均:258.8人)・日立市:185.3人

◆これまでの実績

- ①地域医療再生に伴う医師の確保
 - ・令和6年 日立製作所日立総合病院 産婦人科医:11名、小児科医:9名
 - ◆地域周産期母子医療センターが再開(新生児)(令和3年4月)
 - 整備費用 → 令和2年度:1億3,378万円(施設分9,240万円、設備分4,138万円)
 - 整備内容 → NICU3床(病棟改修、人工呼吸器整備等)
 - 令和3年度:907万円(運営費補助・国補)
- ②令和4年ハイリスク妊産婦受入れ再開 → 地域周産期母子医療センター本格稼働
 - 運営費補助(国補) → 令和6年 実績1,355万円
 - 令和7年 予算額2,139万円
- ③令和7年地域救急医療確保緊急支援事業
 - ・医師少数区域内の三次救急医療機関への緊急的な支援 → 日立総合病院へ3億4,434万円
- ④人口10万人当たりの医師数:令和4年度
 - ・茨城県:212.3人 → 全国46位(全国平均:274.7人)・日立市:205.9人

子どもを産み、育てやすい環境の整備

◆これまでの課題

- ①子どもの医療費助成(マル福)適用拡大(平成26年10月～)
 - ・外来:0歳～小学校6年生まで
 - ・入院:0歳～中学校3年生まで
- ②35人学級の着実な実現
 - ・小学校6年生まで
 - 35人超3学級以上…1学級増設:担任＋非常勤講師 各1名配置
 - 35人超1・2学級 …学級毎に非常勤講師を配置
- ③公立学校耐震化の推進
 - ・小中学校:99.2%(全国平均:99.4%) 全国35位
 - ・高等学校:100%(全国平均:98.9%) 全国1位
 - ・日立市:94.9% 高萩市:48.1% 北茨城市:99.3%

◆これまでの実績

- ①子どもの医療費助成(マル福)(平成30年度31億円の予算)
 - ・入院:高校3年生まで適用拡大(平成30年10月～)
 - ・令和8年度予算額:26.96億円
- ②少人数教育充実プラン推進事業
 - ・中学校1年生まで適用拡大
 - ・令和5年度:3.39億円
- ③公立学校耐震化の推進(令和5年8月)
 - ・小中学校:99.9%(全国平均:99.9%)
 - ・高等学校:100%(全国平均:100%)
 - ・日立市:100% 高萩市:100% 北茨城市:100%



国とのパイプを活かしたインフラの整備

◆これまでの実績

- ①国道6号日立バイパスの整備(日立市田尻町～河原子町10.5km)
 - 平成20年3月 日立市旭町～田尻町(L=4.7km) 暫定2車線供用
 - 平成24年 日立市旭町～国分町(L=3.0km) 日立バイパスⅡ期事業化
 - 全体事業費:240億円 令和8年度:5.4億円(用地買収)
- ②国道6号大和田拡幅
 - 全体事業費:約224億円 令和8年度:14億円(用地買収・道路改良工事)
 - 今後の予定:上り線(東京方面)の橋梁接続部の道路改良工事及び電柱等支障移設工事等実施
 - 上り線の盛土工事・舗装工事等が完了後、上り線へ車線を切り替え、下り線の旧橋を撤去。その後、下り線の橋梁工事、用地取得後改良工事を実施して開通
- ③国道245号線
 - 久慈大橋 :令和8年度:12億円(橋梁下部工事、用地買収)
 - 日立港区北拡幅 :令和8年度:4.5億円(道路改良舗装工事、用地買収)
- ④鮎川停車場線
 - 西工区:令和7年度:工事完了
 - 東工区:令和5年5月24日供用済(JRアンダーパス)
- ⑤真弓トンネル(仮称)【日立市金沢町～常陸太田市幡町】
 - 延長・幅員 :L=5.5km(うちトンネルL=2.1km) W=8.5～11.0/6.5m
 - 日立市 :市道6750号線0.45km 常陸太田市:市道0139号線5.05km
 - 概算事業費:約271億円
 - 予算額 :令和8年度:日立市 8.4億円、常陸太田市19.4億円(用地買収・橋梁上部工事、橋梁下部工事、道路改良工事等)
 - 今後の予定:令和9年～令和11年トンネル施工(令和11年中に完成予定)



皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています。

直近の主な活動

(4月～6月 活動の一部をご報告いたします)

4月 5日 日立さくら祭り
4月 5日 日立さくらロードレース開会式
4月 6日 日立駅頭挨拶
4月 7日 明秀学園日立高等学校入学式
4月12日 かみあい団地自警団総会
4月19日 第97回日立地区メーデー
4月22日 ふるさと未来21研究会
4月25日 茨城県中央メーデー
5月 9日 日立歯科医師会政策懇談会
5月14日 常任委員会県内調査

5月18日 JR 常陸多賀駅頭挨拶
5月21日 「さいとう英彰」第13回県政報告会
5月23日 ふるさと未来21研究会
5月30日 日立市日中友好協会総会
5月31日 久慈川水系連合水防訓練
6月 1日 JR 大甕駅頭挨拶
6月 2日～16日 令和8年第2回定例会
6月 6日 エネルギー政策研究セミナー
6月20日 日立市上下水道フェア



▲第97回日立地区メーデー(4月19日)



▲「さいとう英彰」第13回県政報告会(5月21日)

編集後記

県政だよりの名称は『日立市を元気にしたい、県北地域を活性化させたい』という思いを込めて、明るい希望である朝日をイメージして「SUN RISE」と名付けました。

日頃より温かいご支援・ご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

令和8年第2回定例会が6月2日から6月16日まで開催されました。本定例会では、中東情勢の影響等によるエネルギー価格高騰への対策として、LPガス料金の負担軽減や特別高圧で電気を受電する中小企業・医療機関等への支援を柱とした補正予算が計上されました。県民生活や事業活動への影響を緩和するための重要な施策であると考えております。

また、「台風第6号による農作物等の被害に対する支援を求める意見書」が提出されました。台風による強風・大雨の影響で農作物や農業用施設等に大きな被害が発生したことを受け、被災農業者の早期の営農再開と地域経済への影響軽減に向け、国に対して必要な支援を求める内容となっています。今後は、農業用ハウス等の撤去・再建・修繕への支援や、農業共済の迅速な支払いなど、実効性のある対策が着実に進められることを期待しております。

5月21日には第13回県政報告会を開催し、多くの皆さまにご来場いただきました。活動報告に加え、貴重なご意見やご要望を直接伺うことができ、大変有意義な機会となりました。

また、本年12月に予定されている茨城県議会議員選挙において、5期目への挑戦を決意いたしました。これまで4期16年にわたり県政に携わる中で培った経験を生かし、引き続き地域の発展と県民福祉の向上に全力で取り組んでまいります。今後とも、皆さまの声を県政に届けるべく活動を続けてまいりますので、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(茨城県議会議員・齋藤 英彰)



皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています。